

## 第一部 センサーとしての口腔温測定の意義

責任者：山口 孝二郎

コメンテーター：別部 智司

近年、サーモグラフィ、温度計測器の発達に伴い、様々な場面で温度計測が可能となってきた。

口腔温は体温計での計測でも測定できる簡便な生体の指標である。しかし、その口腔温は時として様々な情報を我々に提供してくれる。今回は自己血貯血時に発生したVVRの症例で口腔粘膜表面温度と鼓膜温の経時的観察をきっかけに、口腔粘膜温が血流のセンサーとして利用できる可能性についてコメンテーターとともに考えてみたい。

## 第二部 C型肝炎と口腔扁平苔癬 その東洋医学的診断と治療

責任者：山口 孝二郎

コメンテーター：貝沼 茂三郎

口腔扁平苔癬は粘膜に角化を伴う難治性慢性炎症性疾患の一種である。本病態はしばしばC型肝炎患者の口腔粘膜にも認められる。近年C型肝炎の治療に漢方を併用されるようになってきた。そのため、コメンテーターとともにC型肝炎患者と口腔扁平苔癬の東洋医学的診断と治療とを再考してみたい。